

広報さらべつ Sarabetsu

Public Relations Sarabetsu

2018
11
vol.674



今月の主な内容

- ◆ **特集** 実りの秋いただきます
- ◆ 地域おこし協力隊新隊員の紹介
- ◆ 役場職員の構成や給与をお知らせします
- ◆ 交通安全・防犯標語コンクール
- ◆ 村のわだい
- ◆ 村からのお知らせ

P 2 ～ 3

P 4

P 6 ～ 7

P 8

P 12 ～ 13

P 14 ～ 15

表紙の風景

10月8日、更別運動広場でどんぐり健康マラソン大会が開催され、101名が出場しました。

霧雨が降り肌寒い中での大会となりましたが、出場した選手のみなさんは、自己ベストを目指しコースを駆け抜けました。

食農教育レシピの料理を熱中食堂で提供



十勝地区農協青年部協議会と帯広畜産大学のサークル「あぐりとかち」が考案した食農教育レシピを熱中食堂の川口達也シェフがアレンジした料理「鶏もも肉のソテーハニーマスタードソース」が、熱中食堂の10月限定メニューとして提供されました。

協議会とあぐりとかちでは、十勝農業の魅力や十勝産食材の素晴らしさを伝えようと平成26年度から連携して活動しており、その一環でレシピを開発。

このレシピを給食を食べる子どもたちだけではなく、より多くの消費者に食べても

らいたいと考えていたところ、西山村長から食農教育に感心がある川口シェフの紹介があり、今回の企画が実現しました。

材料のじゃがいもを提供した協議会副会長の吉田明史さん（北更別区）は「若手農業者の想いが詰まった野菜を、その道のプロに大変美味しく調理していただきました。多くの方がこれまで以上に地元の農産物に目を向けるきっかけになれば」と話していました。

熱中食堂では、今後もレシピをアレンジした料理が提供される予定です。



スロウ村の仲間たち2018が開催

10月8日（月）、さらべつカントリーパークで「スロウ村の仲間たち2018」が開催されました。

道内の作り手とその作品や食を集めたイベントで、更別村では昨年に続いて2回目の開催。道内から過去最多の94店が出店し、約5000人が訪れました。

会場内の「さらべつエリア」では、特産品の販売や、国際トラクターBAMBA実行委員会のメンバーがじゃがいもの食べ比べ企画を実施。6種類のじゃがいもが用意され、訪れた方は日頃なかなか味わえない品種も美味しそうにほおばっていました。また、トラクター遊具の体験や大きな牧草ロールのお絵かきコーナーでは、楽しそうに遊ぶ親子連れでにぎわっていました。



多くの人が行き交うマーケットゾーン



地震で被害を受けた厚真町から出店



いもの食感の違いを感じて



牧草ロールに大はしゃぎ！

更別村の「うまい！」がここに集結 さらべつ大収穫祭2018が開催



J A 青年部の野菜販売は毎年大盛況



和牛ステーキは十勝農園総料理長の実演販売



ステージの後も会場内でパフォーマンスを披露



ハロウィンかぼちゃとパチリ！

10月21日（日）、ふるさと館でさらべつ大収穫祭2018が開催されました。今年は快晴の空のもと、村内外から約5000人が訪れました。会場では、JAさらべつ青年部による採れたて新鮮野菜の販売に開始30分前から長い行列。さらべつ和牛のステーキや大鍋で作ったもつ鍋も人気で、ご当地バーガーやかぼちゃのシュークリームは販売開始から1時間ほどで完売となりました。また、村内飲食店などによる地元食材を使用した飲食ブースも多くの人でにぎわっていたほか、どんぐりのむらポテトチップスがブ

レゼントされるグルメスタンプリーも好評で、来場したみなさんは秋の味覚を存分に満喫していました。ステージイベントは、さらべつかしわ太鼓の演奏で幕開け。マジシャン「アッキー」さんによるマジックショーや特産品が当たるお楽しみ抽選会などが行われ、会場は大いに盛り上がっていました。ファミリーブースでは、ふわふわ遊具やおもしろ自転車コーナーなどで多くの子どもたちの歓声が上がっていました。

特設人権相談所を開設します

12月4日から10日までの1週間は「人権週間」と定められており、全国各地で啓発活動などが行われます。それにあわせ村では、人権擁護委員による「特設人権相談所」を開設します。

家庭内の問題や隣近所のもめごと、いじめ・差別などの人権に関する悩みを村内在住の人権擁護委員がお受けします。

相談は無料で、相談内容などの秘密は厳守しますのでお気軽にご相談ください。

また、当日会場で受付を行いますので事前予約などは必要ありません。

- 日 時
12月6日(木) 13時30分～15時30分
- 場 所
更別村社会福祉センター
- 問い合わせ
役場住民生活課住民活動係 ☎52-2112

更別村移住・定住対策事業

お試し暮らしを体験された方に感想をお聞きました。

お名前：濱本 和夫さん、京子さんご夫妻
徳永 秀夫さん、綾子さんご夫妻

お住まい：兵庫県西宮市

利用期間：7月13日～8月13日

きれいな街で1か月間
楽しく過ごしました。

ふれあいサロンを見学し、みなさんが楽しく過ごされていて心が和みました。図書室も利用し、係の方にお世話になりました。

子どもも含めみなさんがあいさつしてくれる。素晴らしい人々と豊かな自然。更別村は本当に良い所だと思います。

●問い合わせ

役場企画政策課地域開発係 ☎52-2114



地域おこし協力隊に福島さんが新加入



10月1日、地域おこし協力隊に愛知県出身の福島しほりさんが着任しました。

福島さんは、学生時代フランスに1年間留学し「ヨーロッパの街並みや田園風景への憧れを抱いた」と言います。大学卒業後は地元名古屋で旅行会社勤務、海外旅行の添乗などで約30か国を訪ねました。

北海道には親戚が移住したことで訪れる機会が増え、ヨーロッパの田園風景に近い印象を抱いていた福島さん。地域おこし協力隊に応募したきっかけは「昨年の夏に十勝を訪れた際、移住への思いを強くし、印象に残っていた更別村の募集を見つけて応募した」と話してくれました。

着任から1か月が過ぎ「少しずつ慣れてきたが北海道の冬は初めてなので心配」とのこと。今後については「観光地のみを回って北海道に行ってきただけではもったいない。道外の人にも更別の良さを発信していきたい」と意気込みを語りました。

観光振興と特産品開発支援の業務を担当します。

キーワードは『ごちゃまぜ』 「さらべつ版生涯活躍のまち(CCRC)基本構想」 策定へ向けた活動報告

村では、誰もが安心して住み続けることができるまちづくりを目指す「さらべつ版生涯活躍のまち(CCRC)基本構想」策定へ向け検討を開始しています。これまでの検討状況をお知らせします。

検討会議

検討会議のワークショップでは「誰もが安心して住み続けることができる村づくり」へ向け、障がい者・高齢者の就労と活動の場づくり、誰もがくつろげる居場所づくり、地域内交通の充実、移住者の住む場所などの意見が活発に出されています。



先進地視察

8月20日(月)～23日(木)に「ごちゃまぜ」を実践している石川県の社会福祉法人佛子園の6拠点を訪問。障がい者福祉を核に地域とともにまちづくりをする取り組みを視察し、地域住民とのつながりや仕組みづくりについて、さらべつ版生涯活躍のまち基本構想へ取り入れていきます。

推進協議会

第2回推進協議会が10月25日(木)に開催され、構想の策定委託先の公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)より、「福祉の里」を拠点とし、障がい者の就労事業などの展開を検討する方向性が示され、承認されました。これにより、さらべつ版生涯活躍のまち基本構想の検討の方向性が一歩進んだこととなります。



今後の予定

11月に検討会議と推進協議会を開催し、来年1月末に住民向けのフォーラムの開催を予定しています。開催が近くなりましたらご案内しますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

家を新築・増改築、取り壊した方は 手続きをお願いします！

固定資産税は、毎年1月1日現在の所有状況で課税されます。今年中に新築・増改築した家は家屋評価を行い、税額を算定する必要があります。また、取り壊した家は課税台帳から家屋情報を抹消する必要があります。適切な課税を行うため、次にあてはまる方は手続きをお願いします。

■家を新築・増改築された場合

住宅や倉庫など対象となる家屋の工事が終わり次第、職員が家屋評価に伺います。家屋評価は実際に家の中に入り、クローゼットなどの中も確認します。お引越し前に家屋評価を希望される方は事前にご連絡ください。

■家を取り壊した場合

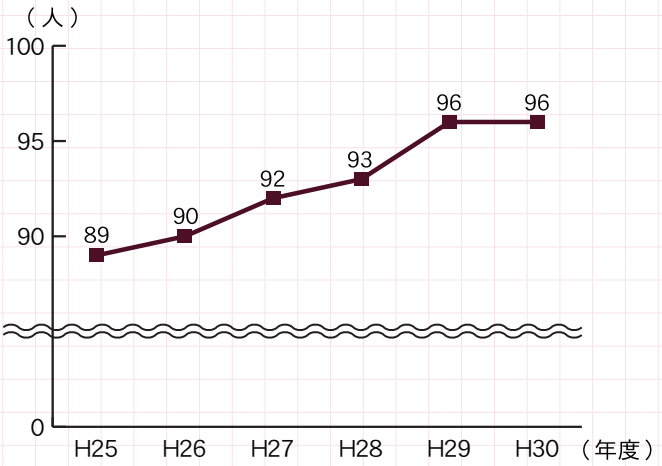
家屋を取り壊した後、家屋異動届の提出が必要になります。家屋異動届をもって課税台帳から家屋情報を抹消しますので、家屋を取り壊した場合にはご来庁いただくか、ご連絡をお願いします。
※法務局で登記の抹消手続きをされた方は、家屋異動届の提出は必要ありません。

●問い合わせ 役場住民生活課資産税係 ☎52-2112

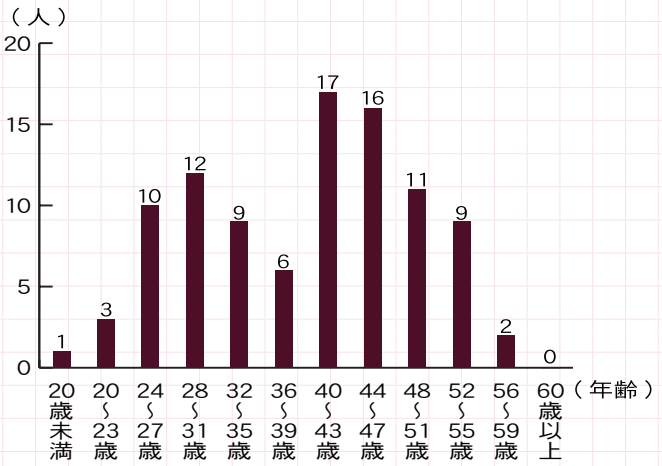
●問い合わせ 役場企画政策課地域開発係 ☎52-2114

職員の状況

◆職員数の状況 (平成30年4月1日現在)



◆年齢別職員構成 (平成30年4月1日現在)



各種手当の状況

区分	内容
扶養手当	子ども 1万円 配偶者・その他の扶養親族 6500円 ※15歳～22歳の子ども +5000円
住居手当	借家 2万3000円上限 持ち家(村内に限る) 1万5000円 ※購入から5年間 +2500円
管理職手当	課長職 給料月額10% 課長補佐職 給料月額の8%
通勤手当	通勤距離が片道2km以上の場合 ◆交通機関利用 最高5万5000円 ◆自動車利用 距離に応じて最高3万1600円
寒冷地手当	扶養親族のある世帯主 2万6380円 扶養親族のない世帯主 1万4580円 その他 1万340円 ※11月～3月まで支給

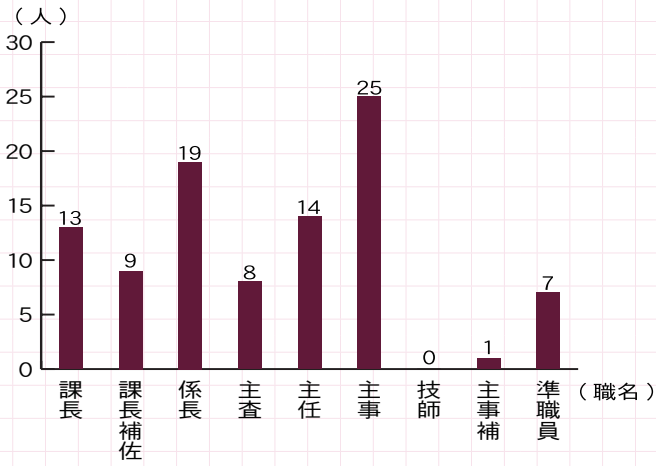
◆採用状況

年度	大学卒	短大卒	高校卒	合計
H30	0人	1人	1人	2人
H29	3人	3人	1人	7人

◆退職状況

年度	定年退職	勧奨退職	その他	合計
H29	0人	0人	2人	2人
H28	2人	0人	2人	4人

◆役職別職員構成 (平成30年4月1日現在)



区分	内容
時間外勤務手当、休日勤務手当	勤務1時間当たりの給料額に35/100～175/100を乗じた額
夜勤手当	勤務1時間当たりの給料額に25/100を乗じた額
夜間看護手当	◆勤務時間が深夜すべてにわたる場合 1回につき6800円 ◆深夜の勤務時間が4時間以上の場合 1回につき3300円 ◆深夜の勤務時間が2時間以上4時間未満の場合 1回につき2900円 ◆深夜の勤務時間が2時間未満の場合 1回につき2000円 ※深夜 22時00分～翌5時00分

●問い合わせ 役場総務課庶務係 ☎52-2111

役場職員の構成や給与をお知らせします

更別村職員の給与は、国や道の制度に準じ、地方自治法と地方公務員法に基づき、村議会での議決を経て定められています。みなさんに、より一層のご理解をいただくため、平成30年4月1日現在の給与と職員数などの概要をお知らせします。

給与の状況

◆人件費

年度	歳出総額(A)	人件費総額(B)	人件費比率(B/A)
H29	54億168万4000円	6億3563万7000円	11.77%
H28	45億7492万4000円	6億3314万8000円	13.84%

※人件費には、退職者に支給される退職金や議員の報酬なども含まれます。

◆期末・勤勉手当 (平成30年4月1日現在)

区分	内容
期末手当	(給料月額+扶養手当月額)の2.6か月分以内
勤勉手当	(給料月額+扶養手当月額)の1.8か月分以内

◆給料・年齢の平均 (各年度4月1日現在)

年度	平均給料月額	平均年齢
H30	30万7468円	40歳6月
H29	30万2917円	39歳6月



◆初任給 (平成30年4月1日現在)

学歴	初任給	前年比
大学卒	17万9200円	+1000円
短大卒	15万6800円	+1000円
高校卒	14万7100円	+1000円

◆退職手当 (平成30年4月1日現在)

勤続年数	自己都合	勧奨・定年
20年	20.45月分	25.56月分
25年	29.15月分	34.58月分
35年	41.33月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分

◆特別職の給料など (平成30年4月1日現在)

区分	月額	前年比
給料	村長	69万円 ±0円
	副村長	59万6000円 ±0円
	教育長	53万6000円 ±0円
報酬	議長	25万8000円 ±0円
	副議長	20万3000円 ±0円
	委員長	18万1000円 ±0円
	議員	16万2000円 ±0円

第41回 更別中央中学校 文化祭

POP TONE ～君色に光れ！～

9月29日（土）、更別中央中学校で文化祭が開催されました。

開会式では、実行委員長の中島華那さんが「全校生徒の個性光る文化祭をお楽しみください」とあいさつ。

実行委員会企画では、開校40周年を記念して第1回文化祭のテーマなど中学校の歴史にまつわるクイズが出題されました。

続いて、劇やダンス、コントなど趣向を凝らした学年ステージが披露され、会場は盛り上がりしました。

また、テーマに沿って鮮やかに描かれた壁画などの作品が展示され、訪れた保護者などの関心を集めていました。

午後からは合唱コンクールが行われ、魂を込めた合唱を披露した3年生に最優秀賞が贈られました。



更 高 生 が 全 国 大 会 出 場

10月16日（火）、更別農業高校の生徒3名が役場を訪れ、10月23日から25日に鹿児島県で開催される日本学校農業クラブ全国大会への出場を報告しました。

3年連続出場の川上優太さん（農業科3年）は「今年こそ最優秀賞を取れるよう頑張ります」と決意を述べました。初出場の荒内らいなさん（生活科学科3年）は「期待に応えて、満足できる成績を残せるよう頑張ります」、村田財良さん（生活科学科1年）は「代表としての経験を今後に活かせるようにしたいです」と話していました。

西山村長は「全国から仲間が集まる良い機会。見識を広め、存分に力を発揮して」、荻原教育長は「全国の雰囲気を感じて、仲間と積極的に交流を深めて」と激励しました。



交通安全・防犯標語コンクール

9月20日（木）、更別村生活安全推進協議会主催の平成30年度交通安全・防犯標語コンクール審査会が開催されました。村内の小中学生を対象に標語を募集。悲惨な事故や犯罪が起こらないようにと願いが込められた多くの作品が、子どもたちから届けられました。

応募総数271点の中から入選6作品が選出され、選出作品の啓発看板が10月24日（水）から国道や旧広尾道路といった比較的交通量が多く、ドライバーや歩行者の目に止まりやすい村内3か所の看板広告塔に設置されました。



1 旧広尾道路 平和区行政区会館横

【帯広側】



あてでない
次の信号 待つ気持ち

更別小学校5年生
はら 陽菜さん

【広尾側】



うんてんしゅ
みんなのいのち せおつてる

更別小学校4年生
せたがわじゅんじ
瀬田川純治さん

2 国道236号 改善センター横

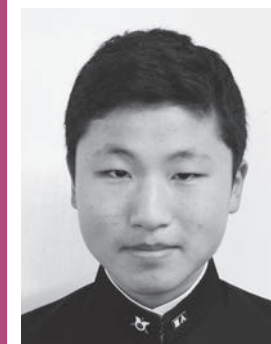
【帯広側】



画面越し
信用するのか その相手

中央中学校3年生
こもと まえ 眞瑛さん

【広尾側】



断ろう
甘い誘いに だまされず

中央中学校3年生
いわき あつし 淳士さん

3 国道236号 上更別バス停横

【帯広側】



あんぜんに
みぎひだりみて わたろうね

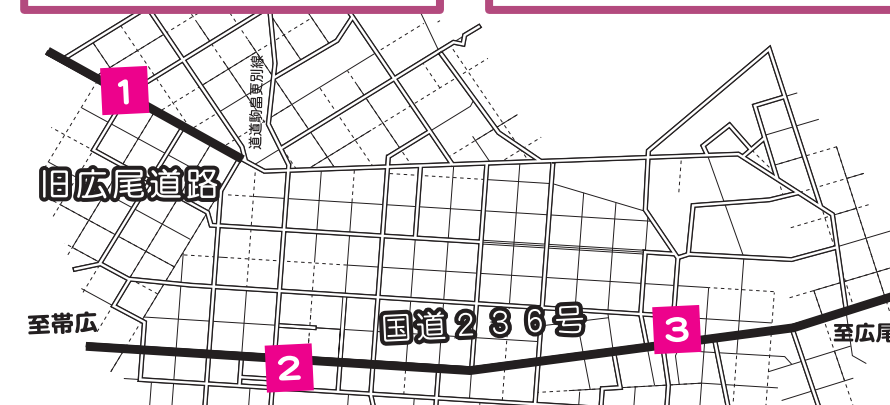
更別小学校1年生
みうら ちか 三浦 慈佳さん

【広尾側】



飲酒運転
自ら開く 死への道

上更別小学校6年生
たなか りょうこう 田中 遼洸さん



お願い

子どもたちが呼びかけるように、日頃から安全運転を心がけるとともに、防犯意識を高め犯罪を寄せ付けない地域づくりをしましょう。

●問い合わせ

更別村生活安全推進協議会事務局
（役場住民生活課住民活動係）

☎ 52 - 2112

口腔機能アップで健康生活

口は、話す・食べる・表情を豊かにするなど、元気で楽しい生活を送るための大切な機能を持っています。その分、何らかの理由で口から食事が摂れなくなると必要なエネルギーが摂取できなくなり、みるみるうちに体力が低下し、介護が必要な状態になってしまいます。いつまでも元気で過ごすために、健口生活を心がけましょう。

【口の健康チェック】

口にうがいができる量の水を含んで 30 秒間「ぶくぶく」と口を動かします。



こんなことが起こったら口の健康は危険信号！

- ☑ 30 秒間ぶくぶくうがいできない
- ☑ 唇から水がもれた
- ☑ 水を飲んでしまった
- ☑ うがいをした水に食べ物の残りがたくさんあった

舌や口の周りの筋肉、機能が低下している
おそれがあります。

命にかかわる「誤嚥性肺炎」

唾液や飲食物が食道ではなく気管に入ってしまうことを誤嚥といい、それによって肺に細菌が増えて起こる肺炎を「誤嚥性肺炎」といいます。

誤嚥性肺炎は高齢者にとって死亡率の高い病気です。誤嚥を防ぐためには、いつまでも元気できれいな口腔を保つことが大切です。

普段の生活にひと工夫で口腔機能をアップ！

○よくかんで食べる

かむ機能や飲み込む機能が高まるだけでなく、唾液がよく出るようになって口の中がきれいになり、消化も助けられます。また、脳が活性化して認知症の予防にもつながります。

○食べる姿勢にも気を配る

誤嚥を防ぐために、上体を起こし、あごを少し引いた姿勢で食べましょう。

○積極的に話す機会を増やす

話すこと、笑うことは舌、くちびる、ほお、のどなどのよい運動になります。

○歌や早口言葉に挑戦する

歌うことは話すこと以上に口のよい運動になります。早口言葉も口やその周りの筋肉を鍛えられます。

○口腔体操をする

代表的なものに「パタカラ体操」があります。「パパパパ、タタタタ、カカカカ、ララララ」と3回繰り返し発声する簡単な体操です。特に食事前に行うと誤嚥予防に効果的です。



★くちをしっかりと閉め
破裂させるように



★舌を上あごにしっかりとくっつけて



★舌の付け根をのどに
押し付けるように



★舌先を丸めて上の
前歯の裏につけて

●問い合わせ 役場保健福祉課包括支援係 ☎ 53 - 3000

11 月は児童虐待防止推進月間です

～未来へと 命を繋ぐ 189(いちはやく)～

児童虐待とは

●身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、家の外に締め出すなど

●ネグレクト

家に残して外出する、食事を与えない、ひどく不潔なままにする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、他の人が子どもに暴力を振るうことなどを放置するなど

●性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

●心理的虐待

言葉により脅かす、無視する、きょうだい間で差別的な扱いをする、子どもの目の前で家族に対して暴力を振るう(DV)など

子どもを健やかに育むために ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。

●子育てに体罰や暴言を使わない

●爆発寸前のイライラをクールダウン

●親自身がSOSを出そう

●子どもが親に恐怖を持つとSOSを
伝えられない

●子どもの気持ちと行動を分けて考え、
育ちを応援

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です

あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

児童相談所全国共通

いちはやく

3 桁 ダイヤル

☎ 1 8 9

(お住まいの地域の児童相談所につながります)

出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

●問い合わせ 役場子育て応援課 ☎ 53 - 3700
帯広児童相談所 ☎ 22 - 5100

障がいに対する理解を深める講演会を開催します

発達障がいなどの判定は受けていないものの、今後の養育に不安のある子どもが近年増加してきています。

障がいなどで支援が必要な子どもの健全な発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるようにするため、年齢や障がいなどに応じた専門的な医療や療育の適切な提供が必要となります。

村では、障がいに対する村民の理解を深めることを目的に、次のとおり講演会を開催しますので、ぜひお越しください。

●日 時 11月24日(土) 13時30分～15時20分

●講 師 中村 裕二先生

●場 所 更別村社会福祉センター 大ホール

(札幌医科大学保健医療学部作業療法学科)

●演 題 「発達期の障害をかかえた子どもへの

●入場料 無料

リハビリテーションについて」 ●申込・問い合わせ 役場保健福祉課福祉係 ☎ 53 - 3000



10/16 外国の文化に触れよう 留学生と語学交流

更別中央中学校で、英語の授業の一環として現在帯広市の高校に通学しているアメリカ、フランス、タイの留学生4名を招き、交流授業が行われました。この授業は、同年代の外国人とのコミュニケーションを通して、英語や外国の文化への興味・関心を深めてもらおうと実施されました。2年生の授業では、すぐろくのマス目に書かれた項目について英語で紹介するゲームを行い、交流を深めていました。



10/11 十勝の代表として全道大会へ 更別中央中テニス部が表敬訪問

更別中央中学校2年の石村真珠さんと森田風薫樹さんが教育委員会事務局を訪れ、10月13日から美唄市で開催される全道大会への意気込みを語ってくれました。全道大会へ向け、石村さんは「初めての全道大会。1試合でも多く試合ができるよう頑張ります」、森田さんは「緊張すると思うが、いつも通りのプレーをして良い結果が残せるよう全力で頑張ります」とそれぞれ力強く抱負を述べました。



10/22 おもーくなったよ 大きくなって自分の牧場へ

村営牧場で退牧が行われ、牛たちが久しぶりに飼養農家のもとへ帰っていききました。牧場は5月から受け入れを始め、村内の農家16戸から合計214頭が入牧。どの牛も概ね順調に成長し、入牧時から5か月で体重が平均94kg増加しました。この日はパドックに農協や役場職員を8名配置し、8時30分から作業開始。牛たちを追い込み、1頭1頭愛情と力を込めてトラックへ乗せていきます。大きく成長した牛たちは元気に牧場を後にしました。



10/18 日頃の練習の成果です 更別JVCが道東大会へ

第38回道新カップ北海道小学生バレーボール大会道東大会への切符を手にした更別JVCの選手たちが教育委員会事務局を訪れ、地区予選の結果報告と11月3日から北見市で開催される大会への意気込みを語ってくれました。キャプテンの貫田菜海さんは「道東大会では自分たちの実力を出し切り、良い結果を残せるよう頑張ります」と話し、荻原教育長は「多くの人の思いを胸に頑張してほしい」と激励しました。



10月15日、にここ運動教室が老人保健福祉センターで開催されました。にここ子育てサロンの一環で、運動教室の形で開かれるのは初めて。まる元運動教室の先生を講師に、14組の親子が参加しました。バスタオルや新聞紙、ボールを使った運動遊びに子どもたちは元気いっぱい。香川区の松橋瑞穂さんは「ひなたちゃんと奨くんと参加。子どもたちが楽しそうに運動していて良かった」と話していました。



10/11 万が一の災害に備えて 避難所運営の訓練を実施

北海道防災総合訓練の実施にあわせて防災訓練が社会福祉センターで行われ、21名が参加しました。はじめに避難者受付のシミュレーションを行い、続いて避難所運営ゲームの北海道版「DOはぐ」を実施。参加者は避難者や物資の配置などに活発に意見を出し合っていました。その後、北海道からの物資受け入れや、段ボールベットの組み立て、非常食の試食が行われ、参加者同士で意見や感想を交換して知識を深めていました。



10/3 一緒に楽しくクッキング 更高生が幼稚園実習

更別農業高校の生徒と更別幼稚園の園児がカレーライス作りを通して交流を深めました。高校生の優しい指導のもと、子どもたちは野菜の皮むきやカットに挑戦し、慣れない作業にも徐々にコツをつかみ、高校生たちと話をしながら楽しそうに料理をしていました。参加した生活学科2年の藤川耕一路さんは「子どもたちが元気に楽しそうで良かった。みんな上手で感心しました」と話していました。

身体障がい者 知的障がい者	精神障がい者	対象者
障がいの程度に応じて 「本人と介護人」 または本人のみ	適用なし	変更前
障害者手帳の交付を受けている すべての本人と介護人		変更後

障がいのある方に適用されている航空割引運賃の適用条件が次のとおり変更されました。

障がい者の航空割引運賃 適用条件変更について

までどこにも相談したことがない」という方も安心して「ご相談ください」（役場担当者とともにの相談となる場合があります）。
📅 11月26日（月）
 ・相談会
 11時00分～12時00分
 13時00分～14時00分
 ・勉強会
 14時00分～16時00分（予定）
📍 広尾町コミュニティセンター
 広尾郡広尾町西3条7丁目
 ※日程、場所はご相談者にあわせて変更も可能です。
👤 十勝障がい者就業・生活支援センターだいいち
 役場保健福祉課福祉係
☎️ 53・8989
☎️ 53・3000

陸上自衛隊 高等工科学校生徒		自衛官候補生（男・女）	募集項目
推薦	一般	年間を通じて 受付中	受付期間
11月30日（金） まで	平成31年 1月7日（金）まで	年間を通じて 受付中	
1月5日（土） ～7日（月）	1次 1月19日（土） 2次 2月1日（金） ～4日（月）	帯広会場 11月18日（日） 12月16日（日）	試験日

自衛官候補生・陸上自衛隊 高等工科学校生徒を募集

募 集

●適用開始時期
 ・日本航空グループ
 平成30年10月4日予約受付分
 ・全日本空輸など
 平成31年1月16日予約受付分
 ※適用になる障がい者は満12歳以上の方です。
 ※精神障がい者の方は、搭乗日当日が有効期限内の顔写真付き精神障害者保健福祉手帳が必要です。
📍 役場保健福祉課福祉係
☎️ 53・3000

※自衛官候補生の応募資格は、18歳以上33歳未満の方
 ※高等工科学校生徒の応募資格は、平成31年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子
📍 自衛隊帯広募集案内所
☎️ 23・8718

国民年金

納めた国民年金保険料は 社会保険料控除の対象です！

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告で社会保険料控除の対象となります。控除の対象となるのは、平成30年1月から12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。
 社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収書など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、平成30年1月1日から10月1日までの間に国民年金保険料を納付された方には、11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送られますので大切に保管してください（平成30年10月1日から12月31日までの間に、今年はいじめて国民年金保険料を納められた方は、翌年の2月上旬に送られます）。

お知らせ

村の財政状況を公表 します

村では、財政状況をみなさんに公表しています。平成29年度の決算状況と平成30年度上半期の財政運営状況をまとめた「財政状況説明書」を閲覧することができ、閲覧を希望の方は役場総務課へお訪ねください。

●閲覧期限

平成31年11月11日まで
📍 役場総務課財政契約係
☎️ 52・2111

ときめきイルミネーションを開催します

村観光協会では今年もときめきイルミネーションを開催し、約4万球のイルミネーションで更別の冬を彩ります。
 初日の点灯式では、16時30分から農村公園でお楽しみイベントを開催する予定です。温かい服装でお集まりください。

●点灯時間

12月3日（月）～来月2月14日（木）の毎日17時00分～21時30分まで
📍 観光協会事務局（ふるさと館内）
☎️ 52・2211

働き方改革を支援 します

北海道労働局では、「北海道働き方改革推進支援・賃金相談センター」を開設しました。社会保険労務士などの労務管理・企業経営の専門家が、無料で雇用管理改善や就業規則の見直しなどの技術的な助言、提案を行います。

📍 北海道働き方改革推進支援・賃金相談センター
☎️ 0800・919・1073

女性の人権ホット

ライン強化週間

女性に対する夫からの暴力（DV）や、セクシュアル・ハラスメントなど女性を巡る人権問題は未だに数多く発生しています。法務省の人権擁護機関では、このような女性を巡るさまざまな人権問題の解決を図るため、11月12日（月）から11月18日（日）までの1週間を『全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間』として、相談時間を延長し、土曜日と日曜日も対応します。

●女性の人権ホットライン

☎️ 0570・070・810
 ●受付時間
 ・11月12日（月）～16日（金）8時30分～19時00分
 ・11月17日（土）、18日（日）10時00分～17時00分

📍 釧路地方方法務局人権擁護課
☎️ 0154・311・5014

テレビ受信障害対策 工事について

平成30年11月22日（予定）以降、村内の一部で携帯電話事業者が新しい電波の利用を開始します。その電波が地上波デジタル放送に影響を与える場合がありますことから、700MHz利用推進協会がテレビ受信障害対策工事を実施します。事前にテレビ映像に影響が出る恐れがある一部地域のご家庭にチラシを投函（必要により訪問）してお知らせします。

工事はすべて700MHz利用推進協会が無償で実施します。

📍700MHz受信障害対策コールセンター

受付時間 8時30分～19時00分
☎️ 0120・700・012
 （年中無休、無料）
 つながらない場合
☎️ 050・3786・0700
 （有料）

障がい者就労支援に関する 相談会を開催します

十勝障がい者就業・生活支援センターだいいちでは、地域にいても相談ができる体制づくりの一環として、就労支援に関する巡回相談会を行っています。仕事を探したいけど、何ができるかわからない」、「仕事をしているけれど、悩んでいることがある」など、本人・家族や企業を対象とした相談会です。「今

税 金

「税を考える週間」 くらしを支える税く

国税庁では、国民のみなさまに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的にさまざまな広報広聴活動を実施しています。

今年の税を考える週間では「くらしを支える税」をテーマに、国民生活と税の関わりを理解してもらうことで、納税意識の向上を図ります。国税庁ホームページ内に特設ページを設け、国税庁の取り組みを紹介するほか、ツイッターによる各種情報の提供を行います。

●国税庁ホームページ
 www.nta.go.jp

村税納期限のお知らせ

固定資産税第3期、国民健康保険税第5期納期限は11月30日（金）です。

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

📍役場住民生活課 資産税係・住民税係

☎️ 52・2112

秋の図書室まつりを開催しました

10月14日(日)、秋の図書室まつりを開催しました。
午前の部では、エプロンシアターやパネルシアターなどの上演や巨大カルタ取り大会を行いました。

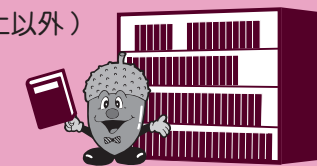
午後の部では、絵本パフォーマー岸田典大さんの絵本ライブが行われました。音楽を流しながらさまざまな語り口で展開される絵本の読み聞かせに、子どもも大人も引き込まれ、笑いもあり、楽しく絵本に親しむことができました。



更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分
休館日 火曜日および祝祭日(日・月・土以外)
住所 更別村字更別南2線96番地11
農村環境改善センター内
電話 52-3171



お知らせ

●図書室で特別展示開催中!

『アートメゾン・ピエンナーレ』

村内在住の書道家安江翠泉さんの書道作品が収録された書籍です。

『動物画家 藪内正幸さんの複製原画 & 絵本』(※11月30日まで)

ぜひご覧ください!

今月の展示

一般書コーナー 『冬の鍋料理』
児童書コーナー 『健康のえほん』
『あったかおふろの絵本』



今月の読みきかせ

11月17日(土) 11時00分～11時30分

- 『THEY ALL SAW A CAT』
(英語で読みきかせをします)
- 『ねこのシジミ』



平成30年度 こころの健康づくり講演会

『心に寄り添うアンガーマネジメント』

12月16日(日) 開催

前回、大変好評をいただいた「こころの健康づくり講演会」。

今年度も「親子」「夫婦」「職場やチーム」など、より良い人間関係を築くことに役立つ心のトレーニング『アンガーマネジメント』について学ぶ講演会を開催します。

自分と相手の心に寄り添い、イライラ・怒りの感情と上手に付き合う方法を、タイプ診断やゲームを交えて楽しく学んでみませんか?

- 日時 12月16日(日) 10時00分～11時30分
- 場所 更別村老人保健福祉センター ※託児あり(要予約)
- 講師 長縄 史子さん
(一般社団法人日本アンガーマネジメント協会理事)
- 参加費 無料
- 申込・問い合わせ 役場保健福祉課保健推進係 ☎53-3000



新着図書案内



今月のおすすめ本

『これから始める 狩猟入門』
原田 祐介/著
狩猟の基本ルールや免許の取り方などを紹介する入門書。

えほん

小さなビスケの はじめてのおつかい (仁木真希子)	ほくは くいしんぼう仮面 (くいしんぼう仮面)	ミカちゃんのひだりて (中川 洋典)	モンゴル大草原 800年 (イチノンロフ・ ガンバートル)	世界のどうぶつ 絵本実物大 (ソフィー・ヘン)	オレはどくろく探検隊 (吉田 勝次)	鉄人 衣笠 (関屋 敏隆)	ニヤンコ どいつだった? (よこた だいすけ)
---------------------------------	-------------------------------	-----------------------	--	-------------------------------	-----------------------	------------------	-------------------------------

児童文学・学習書ほか

夢見る大たち (クリフ・マクニッシュ)	サブリヤたちの 日本昔話 (斎藤 洋)	人工知能と友達に なれるの? (新井 紀子)	女の子だって 野球はできる (長谷川 晶一)
------------------------	---------------------------	------------------------------	------------------------------

文学・一般書

雨降る森の犬 (馳 星周)	死にたいですか? (村上 しいこ)	もう言っちゃいけない (中村メイコ)	村上春樹語辞典 (ナカムラ クニオ)	彼女の恐喝 (藤井 宜永)	凡人の怪談 (工藤美代子)	人生百年時代の「こころ」 と「からだ」の整え方 (五木 寛之)	猫神さま日和 (八岩まどか)	森籠りの日々 (森 博嗣)	縄文力で生き残れ (望月 昭秀)	英語で案内する日本の 伝統・大衆文化辞典 (森口 稔)	これ一冊で身に付くネット ワークの基本としくみ (Gene)	岩石の化学 (西川 有司)
------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	------------------	---------------------------------------	-------------------	------------------	---------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	------------------

更別農業高校 ニュース

食彩フェアに参加して

農業科3年 松浦 雪乃
10月6日(土)にイトーヨーカドー帯広店で行われた食彩フェアに参加しました。食彩フェアは十勝管内の農業高校が集まり生産物の販売を行うイベントです。学校同士が協力し合って活動する機会があまりないので、他校の商品や接客など、学ぶことがたくさんありました。

私は昨年に続いての参加となりましたが、昨年度より声を出して積極的に販売することができたと思います。また、今年度は開会式の司会という大役を担い、その役目と食彩フェアを無事に終わらせることができて良かったです。



更農市を終えて

生活科学科3年 稗田 瑠奈
10月12日(金)に更農市が行われました。私は所属する食物分会で開発した更別農高カレー(レトルトカレー)の販売を担当しました。1時間で100食が売れるという大盛況ぶりに驚きました。同時にカレーライスをしても販売しましたが、事前に告知していなかったためか、こちらはあまり売れず残念でした。

更農市は毎年3年生が担当し、自分たちが栽培・加工した製品を地域の皆さんに販売します。販売開始前からたくさんのお客様に並んでいただき、とても嬉しかったです。



もっと知りたいあなたにお届け！

熱中レポート

vol.5



十勝さらべつ熱中小学校第4期が始まりました

10月27日(土)、第4期の十勝さらべつ熱中小学校の入学式・始業式が開催されました。十勝管内を中心に道内外から131名の方が入学し、学び高め合うため新たな一歩を踏み出しました。

当日は特別授業として、温泉熱などの自然エネルギーを活用し真冬に収穫するマンゴーを栽培する中川裕之さん(株式会社ノラワークスジャパン代表取締役)と、「桃太郎電鉄シリーズ」などの人気ゲームの作編曲を数多く担当し、現在はミュージカル作家としてもご活躍されているまきりかさんとの合同授業が開催されました。

授業では、中川さんの取り組みを題材にしてまきさんが脚本・作曲を手掛けたミュージカル「SNOW MANGO」が上映され、地域愛や人との関わりの重要性を学ぶことができました。

授業終了後には交流会が開催され、参加者同士で自己紹介するなど親睦を深め、講師の方や生徒間での人脈づくりが行われました。



11月の熱中小学校は、11月17日(土)開催です

講師は、シャッター商店街を戦略的に3年間で再生した「地域再生請負人」黒田泰裕さん(株式会社油津応援団代表取締役)、投資家で長期運用のパイオニアとして熱い支持を集める澤上篤人さん(株式会社さわかみホールディングス代表取締役)、電子機器に搭載される半導体メーカー大手でIoT事業に精力的に取り組む内海弦さん(アーム株式会社代表取締役社長)です。

授業は無料で見学もできますので、お気軽にお越しください(当日は13時から受付しています)。

無料プログラミング教室について

2020年度の小学校プログラミング教育必修化に向けて、プロジェクト TECH では楽しく学べるプログラミング教室「更別セントラル」を開催しています。

今回は11月18日(日)に十勝さらべつ熱中小学校で開催されますので、プログラミング教育について関心のある方、プログラミングでゲーム作りを体験したい方など、多くの村民のみなさまの参加をお待ちしております。

参加希望の方は、プロジェクト TECH のホームページ(<https://tokachi.tech/>)からお申し込みください。

施設に関する問い合わせなどは、熱中開拓機構(☎66-4554)へお願いします。

更別村成人式を開催します

平成31年更別村成人式に出席できる方は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方です。

現在更別村に住民登録がある方と、平成26年3月に更別中央中学校を卒業された方には、教育委員会から案内状が送付されています。

成人式の案内状が届いていない方で参加を希望される方は、11月20日(火)までに教育委員会へご連絡ください。

●日時 平成31年1月13日(日) 10時00分～
※遠方から帰省する方に配慮し、「成人の日」前日に開催しています。

●場所 更別村社会福祉センター

●問い合わせ 教育委員会事務局

☎52-3171



教育委員会委員 任命のお知らせ

9月11日に開かれた村議会定例会で議会の同意を得て、本間靖人さんが教育委員会委員に任命されました。

任期は今年の10月1日から平成34年9月30日までの4年間です。



ほんま やすひと
本間 靖人さん
(上更別区)

～子どもからお年寄りまで 笑顔と笑い声があふれ、 一人ひとりが輝く村～

10月14日(日)、ふるさと館で今年8月に内閣府より採択された「近未来技術等社会実装事業」の事業主体となる「更別村スマート産業イノベーション協議会」の発足会議が開催されました。この事業は北海道を中核に、水田は岩見沢市、畑作は更別村で、一次産業で近未来技術であるAIやIoTを活用して実装・実証を図るものです。協議会では、ロボットトラクター、ドローン、WAGRI(農業データ連携)を想定したAI技術などを主に、産業改革に向けた実証を行うこととしています。大型農業が主たる本村から多くの先進技術が開発され、今日の産業課題の解決が図られることを切に願うものであります。

letter from Takeshi

記念すべき第30回

「札幌さらべつ会」が大盛会

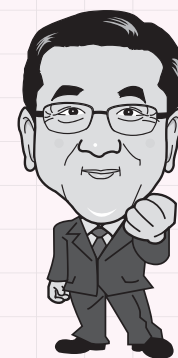
10月13日(土)、ホテル札幌ガーデンパレスで平成30年度「札幌さらべつ会」が開催されました。平成元年から始まった「会」も今年で記念すべき30回目の節目となり、札幌市や近郊から更別出身や更別にゆかりのある方々が多数参加されました。

村からは、前村長の岡出誠司さん、前議長の木山幸則さん、松橋議長、JAさらべつの若園組合長、更別村商工会の高木会長をはじめ、総勢32名で祝いに馳せ参りました。

はじめに総会が行われ、大橋康博会長から、今年で30周年を迎えた会の歩みと、創始者である原先生をはじめとする歴代役員・諸先輩のみなさまへの感謝とお礼が述べられ、会の輝かしい歴史を振り返り、今後もしっかりと更別村との絆を強く、会員相互の親睦交流を図るとともに、郷土さらべつの発展に寄与していきたいとのご挨拶をいただきました。

続いて私から最新の村の概況や

多くの意見・要望を村政に！



村長室 だより

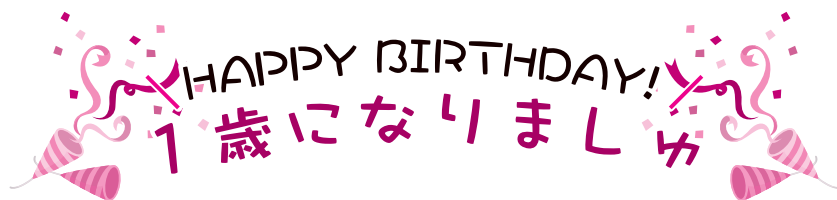
NO.36

地方創生を含む村政の取り組みなどについて、若園組合長からは収穫期を迎えた作況状況や更別の農業情勢について、それぞれ報告しました。その後の懇親会では、原先生ご夫妻や会員のみなさまより近況やふるさと更別の思い出話などをお聞きしました。

結びに参加者全員で村歌を合唱し、輪になつて盆踊りも踊りました。会員のみなさまの村への熱い思いをしっかりと受け止めて、会場に溢れるはつらつとした歌声のうちに、益々お互いが響き合える村づくりに邁進しようとする決意を新たにしました。

「近未来技術等社会実装事業」がスタート

10月14日(日)、ふるさと館で今年8月に内閣府より採択された「近未来技術等社会実装事業」の事業主体となる「更別村スマート産業イノベーション協議会」の発足会議が開催されました。この事業は北海道を中核に、水田は岩見沢市、畑作は更別村で、一次産業で近未来技術であるAIやIoTを活用して実装・実証を図るものです。協議会では、ロボットトラクター、ドローン、WAGRI(農業データ連携)を想定したAI技術などを主に、産業改革に向けた実証を行うこととしています。大型農業が主たる本村から多くの先進技術が開発され、今日の産業課題の解決が図られることを切に願うものであります。



やまだ
山田 星空 くん
平成29年11月27日生
更生区

いつもニコニコ笑顔♡その笑顔を
忘れず、すくすく成長してね♡

雄二・梨菜



やまかど
山角 咲菜 ちゃん
平成29年11月15日生
更別東区

食べることも大好き食いしん坊な咲菜
です。いつもいい顔や真似っこをし
てみんなを笑わせてくれます♪

これからたくさん食べていっぱい
笑って元気で優しい子に育ってね!

智志・恵里



たかはし
高橋 莉央奈 ちゃん
平成29年11月30日生
東栄区

良く笑い、良く食べ、良く寝ていつ
も元気いっぱいです!

これからも沢山笑ってのびのび育っ
てね!

直人・瑛子



すずき
鈴木 絢 ちゃん
平成29年11月30日生
緑町

食べることも、遊ぶことが大好きな
絢です。

これからも笑顔いっぱい、元気にす
くすく大きくなあれ!

俊介・愛

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
127日(10月31日現在)

■地域安全運動のお知らせ

これからの時期は灯油の盗難事件が多発する
傾向にあります。

盗難被害を防ぐため、灯油タンクの給油口には
鍵付きの盗難防止カバー、配管部には配管の
破壊を防止するカバーを取り付けるなど防犯対
策をしましょう。灯油をポリタンクに入れて保
管する場合は、施錠設備のある物置などで保管
し、タンクごと持ち去られることがないように
しましょう。

戸籍の窓口

誕生おめでとう

やまもと あい ちゃん (柏 町) 和也・紗由里
山 本 愛 華 ちゃん

お悔み申し上げます

大 谷 照 子 さん (本 町) 89 歳
上 田 清 美 さん (花園町) 86 歳
柏 村 政 雄 さん (花園町) 81 歳
杉 山 宏 子 さん (花園町) 60 歳

人の動き

2018年10月1日現在

※() 内の数字は前月比



総人口
3,181 人
(-1人)



男性
1,574 人
(±0人)



女性
1,607 人
(-1人)



世帯数
1,319 世帯
(-2世帯)